

「第4回北海道国有林森林・林業技術協議会

現地検討会 報告

日時：平成25年11月27日（水）

場所：空知森林管理署由仁森林事務所 14 か林班

出席者：北海道森林管理局、林木育種センター北海道育種場、森林総合研究所北海道支所
合計30名

内容：当協議会は、北海道地域における技術開発及び試験研究に関する情報の交換・成果の普及等を目的として平成22年度に発足しました。

今年度は由仁町伏見地区内の「馬追トドマツ人工林収獲試験地」において、トドマツ人工林の腐朽被害について検討会を開きました。

初めに足立 技術開発主任官(北海道森林管理局)から試験地の概要説明を行いました。引き続き山口 チーム長(森林総合研究所)から樹木の腐朽を判定する装置「レジストグラフ」を使った実態調査の結果をもとに腐朽被害について説明し、同試験地内のトドマツ枯損木を使用しレジストグラフの実演を行いました。

その後には枯損木をチェーンソーで切り倒し、実演で得た判定結果と切り株を照らし合わせ、レジストグラフの精度の高さを実証しました。

レジストグラフは短時間で効率的に腐朽結果を出すことが出来、腐朽被害の早期発見と対処に役立つことなどがわかり、大変有意義な現地検討会となりました。



レジストグラフの実演（山口チーム長）



チェーンソーによる伐倒・輪切り
(森林総研 業務係による)



トドマツ枯損木伐倒・輪切り後

最後に、今後も三機関において綿密な連携を図り、森林・林業施策推進上生じる技術的課題の速やかな解決を図り、地域の森林・林業振興に寄与していくことを確認し終了しました。